ゴルフ・全国大学対抗戦

男子「TOPY CUP」出場へ

女子は木村が個人枠で選出

ゴルフの全国大学対抗戦が6月19、20の両日、北海道・オークウッドゴルフクラブで行われた。専大は男子がトータル589で6位となり、9月のTOPY CUP日米大学対抗ゴルフ選手権の出場権を獲得した。

全国各地から勝ち上がった強豪18校が大学日本一をかけて競い合う今大会。初日は井上紳也主将（商4・埼玉栄高）を中心に5位で終えたが、2日目、全員のスコアが伸びず、順位を下げた。宮里政志（文3・鹿島学園高）は「一人ひとりが実力を出し切れば、もっと上位に入れたと思うが、出場権獲得という、最低限のノルマは果たせた。万全の準備をし、日米大学対抗は上位を目指したい」と述べた。

また、同クラブで行われた全国女子大学対抗戦は初日、トップと3打差の2位につけたが、2日目にスコアを崩し、団体戦8位。今大会の結果を含め、木村麻希（経済3・明徳義塾高）が、日本学生ゴルフ連盟の推薦で日米大学対抗選手権の個人枠に選出された。

（佐山　竜太・経済2）

▲　出場した男女メンバー

馬術・関東学生三大大会

全種目とも団体3位

個人は霸林4位、菅谷5位

▲　1年次生ながら上位入賞した菅谷（撮影・久田）

関東学生賞典障害飛越競技大会、同馬場馬術競技大会、同総合馬術競技大会からなる関東学生馬術三大大会が6月26日から29日まで、JRA馬事公苑で行われた。全種目とも団体3位で、3種目総合でも3位となった。

個人は、馬場馬術で霸林（ばりん）舞（商2・市立前橋高）・ヴァリアント号が4位、総合馬術で菅谷泰一（経済1・浦和東高）・エンドーペロー号が5位に入賞した。

試合後、富沢健悟監督は開口一番「今年の戦力でこの結果は満足です。苦手とする障害飛越の余力審査で順位を上げられたことが大きい。この夏、選手の育成力と馬の完成度を上げて、より確実な力をつけたい」と語った。

武井慎弥主将（経済4・奈良高）は「総合馬術の耐久審査ではアクシデントが起きたが、もちこたえられた。3種目とも秋の全日本学生選手権の出場枠が獲得できて何よりでした」と話した。

東京大会第9競技

霸林が優勝

東京大会が6月6～8日、同会場で行われ、第9競技セントジョージ賞典馬場馬術課目で霸林・ヴァリアント号が優勝した。また6月14、15日に行われた関東学生争覇戦は4位に終わった。

（久田　照喬・商2）

アーチェリー・関東地区ターゲット選手権

＜男子の部＞

星が優勝

▲　的に向かい、集中する星

アーチェリーの関東地区ターゲット選手権が6月22日、宇都宮駒生球場で行われ、星達也（経営1・馬頭高）が男子の部で優勝を飾った。

雨の中、学連推薦枠で出場した星は得意の長距離で得点を伸ばす。短距離でも大きく崩れることなく、合計1233点をマークした。「あいにくの天気で、他の選手は全体的に点数が伸びていなかったが、自分は大会1週間前に自己ベストを更新するなど、調子は悪くなかった。優勝できたことは素直にうれしいが、全日本推薦点に届かず、満足はしていない」と語った。

（新海　城生・経済4＝写真も）

バスケット・日本学生選抜

鈴木、横山、相原が活躍

全国9地区の学連選抜チームによる日本学生選抜バスケットボール大会が7月4日から6日まで、仙台市体育館ほかで行われた。専大からは、男子は鈴木正晃（商4・静岡学園高）が、女子は横山悠衣（文4・市立柏高）、相原渚（経営3・実践学園高）が関東学連選抜の一員として出場し、チームの勝利に貢献した。なお、関東学連は男子が優勝、女子が準優勝だった。

準硬式野球・全日本大学選手権予選

2年連続15回目の「全日本大学」出場

全日本大学準硬式野球選手権の予選2次トーナメントが6月14、15の両日、八王子市民球場ほかで行われた。専大は決勝で東海大を8－0で破り、2年連続15回目となる全日本大学選手権（8月29日～9月3日、香川県）の出場権を獲得した。

林真吾主将（経営4・観音寺第一高）は「今までやってきたことが無駄になるので、一丸となって勝ちにいった」と話した。また全日本大学に向け、大田純也主務（文4・専大北上高）は「専大旋風を巻き起こしたい」と意気込みを語った。

田中が最優秀選手と最優秀投手賞を獲得

東都大学準硬式野球春季リーグ戦の個人賞が発表され、田中暁（経営3・鳴門工高）が最優秀選手、最優秀投手に輝いた。また、ベストナインには投手で田中が、外野手で牧野翔太（経営2・作新学院高）が選出された。

（佐山）

テニス・神奈川インドア

単複ともベスト4

テニスの神奈川インドアオープン（女子）が6月18日から22日まで、神奈川県・茅原湘南スポーツセンターで行われ、ダブルスで小金井理恵（商1・湘南工科大附高）・重藤真知子（文1・筑陽学園高）組が、シングルスで小金井がともにベスト4入りを果たした。

小金井は「練習不足でミスが多かった。これから夏に向けて体力をつけたい」と語った。

また、ダブルスでは、古賀愛美（文3・筑陽学園高）・松山芳（経営3・静岡市立高）組、相羽望（文4・秀明英光高）・小沢槙穂（社会人）組がベスト8に進出。シングルスでは、相羽、古賀、重藤の3人がベスト16に入った。

（堀田　祐太朗・文1）

合気道部「創部50周年記念式典」

合気道部の「創部50周年記念式典」が6月14日、生田キャンパスで開かれた。来賓の日高義博理事長・学長をはじめ、卒業生、部員ら約200人が出席。旧交を温め、部の更なる発展を誓った。

また、式典に先立ち、田中茂穂師範（明治神宮武道場至誠館名誉館長）の指導のもと、卒業生、現役生の合同稽古が行われた＝写真。

国際大会出場選手

◇馬術部
柳原　大徳（商3・各務原西高）
秋山　桜子（経済2・横浜旭陵高）日韓学生大会（7月4～7日、韓国）

◇レスリング部
荒木田　進謙（経済3・光星学院高）
平川　臣一（商3・三井高）
中谷　月明（文3・添上高）ジュニア世界選手権（7月25日～8月5日＝トルコ）
江藤　公洋（経営2・福島高）ジュニアアジア選手権（7月2～8日＝カタール）

記録コーナー

◇剣道部
▽全日本学生選手権（7月5、6日、大阪府立体育会館）嶌津貴之（経済3・安房高）＝ベスト16、富松資国（経済3・福岡第一高）＝2回戦敗退

◇自動車部
▽全関東ジムカーナ大会（6月29日、富士スピードウェイ）【団体】18位

◇柔道部
▽全日本学生柔道優勝大会（6月28、29日、日本武道館）1回戦敗退

◇テニス部
▽関東学生選抜トーナメント大会（6月28日、慶応大学日吉キャンパスほか）【女子シングルス】中村晴日（経済1・佐賀東高）＝ベスト16、木川里奈（ネット情報1・共栄学園高）＝ベスト16、東由貴（商1・静岡市立高）＝ベスト16

◇バレーボール部
▽東日本大学選手権（6月19～22日、東京武道館ほか）ベスト16

◇バスケットボール部
▽関東大学新人戦（本選＝6月15～21日、代々木第2体育館ほか）ベスト16【2回戦】
専大　94－57東洋大【3回戦】
専大　81－95慶應大

◇ボクシング部
▽関東学生リーグ戦（2部＝）6位

◇陸上競技部
▽全日本大学駅伝対校選手権・関東学生陸上競技連盟推薦校選考会（6月22日、代々木公園陸上競技場）10位※本戦出場権獲得ならず

◇ローラースケート部
▽東日本学生ホッケーリーグ戦（5月24日～6月8日、筑波ローラースケートスタジアム）4位【最優秀ゴールキーパー】道本雅之（経営3・日野台高）【敢闘賞】内田康博（経営4・大宮北高）
▽東日本選手権（6月14～22日、同会場）ベスト8

体育会本部主催「小さな親切運動」

体育会メンバーが通学路を清掃

体育会本部主催の「小さな親切運動」が7月5日、生田キャンパス周辺で行われた。正門から向ケ丘遊園駅までの通学路を中心に体育会各部の有志約70人が清掃した＝写真。炎天下、学生たちは熱心にごみを拾い、たばこの吸い殻や食べ物のパックなど、90リットル入りのゴミ袋6袋分ものごみを拾い集めた。地域に貢献し、信頼してもらえるように、今回の活動にとどまらず、専大生は日ごろから責任のある行動を心がけよう。

（山口　高弘・商1）

本紙に載りきらない記事や結果などを専大スポーツ web（http://sensupo.blog 11.fc2.com/）で配信しています。ぜひ、ご覧ください。